

Interim Report 2007

2008年3月期 [中間決算のご報告]
(2007年4月1日～2007年9月30日)

STAR HOLDINGS CO.,LTD.

スターホールディングス株式会社

株主・投資家の皆様へのメッセージ



代表取締役社長
佐藤 不三夫

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに当社2008年3月期中間（2007年4月1日から2007年9月30日まで）の営業概況について報告します。なお、記載されています業績等の数値につきましては、連結ベースとなっています。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益が改善し、設備投資は緩やかな増加傾向となりました。こうした企業部門の好調さが家計部門の所得環境に好影響を及ぼしたことで、国内民間需要主導の景気回復が見られました。

商品先物市場においては、ナイジェリアにおける政情不安などを背景に、原油相場は底堅く推移したほか、エタノール需要の増加や米中西部の天候不順を受けて、とうもろこしなどの穀物相場が2007年6月中旬に一時的に急騰しましたが、同年7月下旬に米国のサブプライム問題が商品市場にも波及し、CRB指数は一時的に300台を割り込みました。しかし、同年9月に入り、米国の金融不安が後退したことで、金相場や原油相場などが値を戻し、同指数は330台まで上昇しました。なお、当中間連結会計期間における国内商品先物市場全体の売買高は72,689千枚（前年同期比23.7%減）、当社グループの売買高は834千枚（同17.8%減）となりました。

外為市場においては、日米金利差の拡大や世界的な株式相場の堅調地合いを背景に同年6月末までは総じて円安トレンドとなりました。しかし、同年7月中旬にサブプライム問題の影響などから大幅に円高に振れ、同年8月末には一時、1ドル＝111円台半ばをつけました。その後、同年9月中旬の米国の金利引下げや欧州の金利先高観の影響から、主要通貨に対して、円は軟調な地合が続きました。なお、当中間

連結会計期間における取引所為替証拠金取引「くりっく365」の取引高は18,993千枚（同240.8%増）、当社グループの取引高は3,465千枚（同123.0%増）となりました。

株式市場においては、世界的な株高や国内外金利差を背景とした円安トレンドの影響で、日経平均株価は徐々に水準を切り上げ、一時、18,300円近くまで上昇しました。しかし、同年7月下旬にサブプライム問題の影響などから米国株が大幅に下落したことをきっかけに同年8月中旬には15,200円台をつけ、その後は、同年9月中旬の米国の金利引下げなどが好感され、17,000円近くまで反発しました。

このような状況のもと、営業収益2,093百万円（同14.3%減）、営業損失113百万円（前年同期は176百万円の損失）、経常損失97百万円（前年同期は143百万円の損失）、中間純損失58百万円（前年同期は149百万円の損失）となりました。

■受取手数料

2,106百万円（前年同期比11.2%減）となり、その内訳は商品業務1,374百万円（受取手数料に占める割合65.3%）、為替業務679百万円（同32.3%）、証券業務51百万円（同2.4%）です。

■売買損益

売買損益は農産物市場や貴金属市場などで売買損を計上した結果、38百万円の売買損（前年同期は26百万円の売買益）となりました。

■営業費用

営業費用は2,207百万円（前年同期比15.7%減）となりましたが、その主なものは、人件費867百万円（同36.8%減）、取引所等関係費406百万円（同85.2%増）、不動産賃借料141百万円（同23.9%減）です。

決算期 (単位: 千円)	2004/3	2005/3	2006/3	2007/3	2007/9 (中間)
営業収益	4,866,905	5,733,052	5,355,173	4,324,130	2,093,804
経常利益	△ 436,652	△ 22,251	△ 272,858	△ 517,114	△ 97,657
中間(当期)純利益	△ 520,040	△ 24,789	△ 248,446	△ 928,242	△ 58,656
総資産額	23,825,852	24,147,774	25,105,613	28,134,390	27,482,889
純資産額	8,319,747	8,195,656	7,857,595	7,084,249	6,832,757

セグメント概況

商品業務

当社グループの商品業務の状況

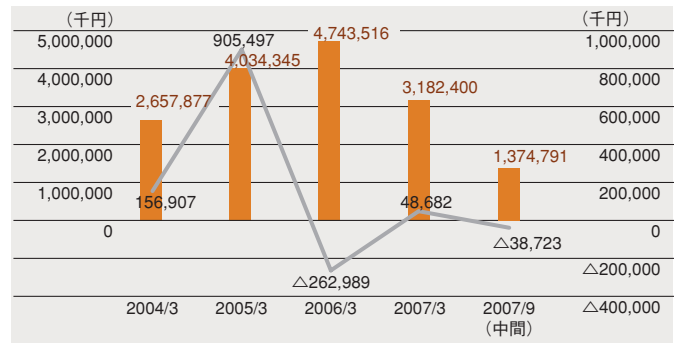
当社グループの主力業務を担う商品先物取引は、2005年に手数料完全自由化や商品取引所法の改正が行われ、業界全体が変革の時期にあります。このような変革に臨むべく、当社グループは対面取引とオンライン取引の両面からの強化に取り組んでいます。対面取引に関しては情報提供力の強化や社内教育の徹底により、質の高いサービスを手掛けています。

当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間の当社グループの商品業務の受取手数料は1,374百万円（前年同期比30.7%減）となり、その主な内訳は貴

金属市場670百万円（同46.6%減）、農産物市場548百万円（同86.9%増）、石油市場113百万円（同58.8%減）です。

■受取手数料／—売買損益 ※受取手数料には、商品ファンドも含む



為替業務

当社グループの為替業務の状況

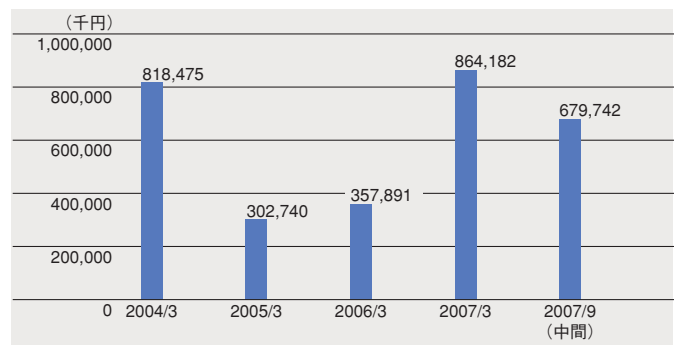
1998年4月の外為法改正を受け、翌年3月からグループ会社であるスターアセット証券株式会社にて通貨取引をスタートさせました。なお、スターアセット証券株式会社は、2005年7月より、東京金融取引所の取引所為替証拠金取引「くりっく365」の取り扱いを開始しましたが、今後著しい成長が見込まれる同取引市場において勝ち残っていくため、2007年7月に同社の「くりっく365」事業を分社化し、スター為替株式会社（2007年4月設立）に同事業を承継しています。

当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間の当社グループの為替業務の受取手数料は679百万円（前年同期比122.3%増）となり、その主な内訳は米

ドル／円の取引186百万円（同40.4%増）、豪ドル／円の取引134百万円（同388.7%増）、NZドル／円の取引128百万円（同268.9%増）です。

■受取手数料



証券業務

当社グループの証券業務の状況

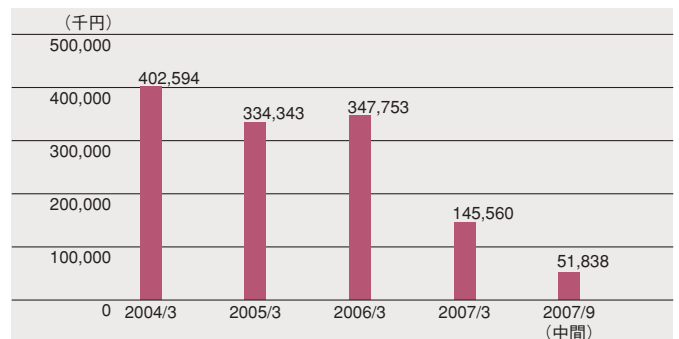
当社グループでは、スターアセット証券株式会社が1999年7月に証券業登録を受け、同年8月より営業活動を開始しました。当社グループの証券業務の特色としては、これまで蓄積してきたデリバティブ取引のノウハウを活かし、信用取引及び、先物・オプション取引に注力している点です。また、オンライン取引では「スター225」を展開しています。

当中間連結会計期間の概況

当社グループの証券業務の受取手数料は51百万円（前年同期比37.0%減）となりました。なお、当社グループの注力分野である

信用取引及び先物・オプション取引に係る受取手数料が、証券業務の受取手数料に占める割合は62.7%（前年同期は62.8%）です。

■受取手数料



連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	当中間期 2007年9月30日現在	前中間期 2006年9月30日現在	前 期 2007年3月31日現在
資産の部			
流動資産	25,705,858	22,855,192	25,902,481
現金及び預金	3,870,576	4,127,733	3,545,112
預託金	1,206,941	1,153,122	1,306,941
委託者未収金	163,884	272,792	281,114
保管有価証券	554,187	788,392	805,276
差入保証金	16,275,776	11,081,525	15,366,018
金銭の信託	2,020,000	2,440,000	2,230,000
信用取引資産	554,745	1,560,620	1,282,573
委託者先物取引差金	687,146	1,089,068	720,459
その他	373,107	342,809	365,855
貸倒引当金	△508	△872	△871
固定資産	1,776,828	2,345,695	2,231,639
有形固定資産	131,648	426,408	291,394
無形固定資産	41,001	41,702	40,012
投資その他の資産	1,604,177	1,877,584	1,900,231
繰延資産	202	337	269
資産合計	27,482,889	25,201,225	28,134,390
負債の部			
流動負債	19,472,314	16,273,230	19,677,208
預り証拠金	2,988,731	3,453,681	2,820,639
外国為替取引預り証拠金	13,969,169	9,099,869	13,317,396
預り証拠金代用有価証券	554,187	788,392	805,276
信用取引負債	542,473	1,515,993	1,280,230
受入保証金	577,905	566,665	556,149
その他	839,848	848,627	897,514
固定負債	879,050	725,461	1,009,593
繰延税金負債	85,402	186,311	192,506
役員退職慰労引当金	299,090	—	299,090
負ののれん	469,562	498,910	484,236
リース資産減損勘定	24,995	40,240	33,760
特別法上の準備金	298,766	333,650	363,339
商品取引責任準備金	276,013	319,155	345,197
証券取引責任準備金	11,199	11,373	11,199
金融先物取引責任準備金	11,553	3,122	6,941
負債合計	20,650,131	17,332,343	21,050,141
純資産の部			
株主資本	6,761,827	7,617,674	6,838,798
評価・換算差額等	70,929	251,207	245,451
少数株主持分	—	—	—
純資産合計	6,832,757	7,868,881	7,084,249
負債純資産合計	27,482,889	25,201,225	28,134,390

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間期 2007年4月1日から 2007年9月30日まで	前中間期 2006年4月1日から 2006年9月30日まで	前 期 2006年4月1日から 2007年3月31日まで
営業収益	2,093,804	2,443,070	4,324,130
営業費用	2,207,477	2,619,794	4,880,790
営業損失	113,672	176,724	556,659
営業外収益	30,595	37,034	64,952
営業外費用	14,580	3,898	25,407
経常損失	97,657	143,588	517,114
特別利益	97,082	138,099	203,684
特別損失	25,342	140,887	596,497
税金等調整前中間(当期)純損失	25,917	146,377	909,927
法人税、住民税及び事業税	21,544	7,786	13,015
法人税等調整額	11,195	△4,798	5,299
中間(当期)純損失	58,656	149,366	928,242

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

	当中間期 2007年4月1日から 2007年9月30日まで	前中間期 2006年4月1日から 2006年9月30日まで	前 期 2006年4月1日から 2007年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	168,840	49,333	△503,277
投資活動によるキャッシュ・フロー	171,043	260,079	312,324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,958	△41,865	△42,076
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	321,924	267,547	△233,029
現金及び現金同等物の期首残高	3,101,968	3,334,998	3,334,998
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	3,423,893	3,602,546	3,101,968

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

中間連結株主資本等変動計算書(要旨) 2007年4月1日から2007年9月30日まで

(単位：千円)

	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 等		少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
2007年3月31日残高	2,500,000	60,749	4,481,024	△ 202,975	6,838,798	245,451	245,451	—	7,084,249
中間連結会計期間中の変動額									
剰余金の配当			△ 18,303		△ 18,303				△ 18,303
中間純損失			△ 58,656		△ 58,656				△ 58,656
自己株式の取得				△ 10	△ 10				△ 10
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						△ 174,521	△ 174,521		△ 174,521
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△ 76,960	△ 10	△ 76,970	△ 174,521	△ 174,521	—	△ 251,491
2007年9月30日残高	2,500,000	60,749	4,404,064	△ 202,985	6,761,827	70,929	70,929	—	6,832,757

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。



当社の連結子会社であるスター為替株式会社は、従来提供していた取引所為替証拠金取引「くりっく365」の取引サービスを「スター為替くりっく365」としてリニューアルするとともに、新たに外国為替証拠金取引の相対取引サービス「為替24」を開始しています。

スター為替株式会社HP

<http://www.starkawase.jp/kawase24/>

会社概要 (2007年9月30日現在)

- 社名 スターホールディングス株式会社
- 本社 福岡市博多区博多駅前1-2-5
- 設立 2004年12月1日
- 資本金 25億円
- 従業員 (単独) 4名 (グループ) 205名
- 主な事業内容 金融商品取引業、商品先物取引業を営む子会社・関連会社の株式を所有することによる当該会社の事業活動の支配および管理
- 役員

代表取締役社長	佐藤 不三夫
取締役	吉田 信明
取締役	川崎 芳徳
取締役	竹村 義則
常勤監査役	原口 隆羨
監査役	林 和雄
監査役	福田 孝一

グループ会社概要 (2007年9月30日現在)

スターアセット証券株式会社

設立：1970年12月
 資本金：20億27万円
 代表者：竹村 義則
 本社：福岡市博多区博多駅前1-2-5
 支店：日本橋支店、大阪支店
 事業内容：商品先物取引業
 金融商品取引業

スター為替株式会社

設立：2007年4月
 資本金：3億5,500万円
 代表者：川崎 芳徳
 本社：東京都千代田区神田須田町1-24-1
 事業内容：金融商品取引業

スターインベスト株式会社

設立：2004年8月
 資本金：4億8,000万円
 代表者：森 政雄
 本社：福岡市博多区博多駅前1-2-5
 事業内容：ディーリング事業

カーボンニュートラル株式会社

設立：2007年7月10日
 資本金：1,000万円
 代表者：仁木 靖
 本社：東京都中央区日本橋本町1-5-4
 事業内容：環境事業

株式の状況 (2007年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 25,000,000株
- 発行済株式総数 6,543,700株
- 株主数 1,672名
- 大株主の状況

株主名	所有株式数(株)	出資比率(%)
吉田信明	1,206,755	18.44
スターアセット証券株式会社	441,432	6.75
佐藤不三夫	339,825	5.19
吉原商品株式会社	255,560	3.91
木原和喜	232,435	3.55
竹村義則	184,000	2.81
スターホールディングス社員持株会	167,200	2.56
木原商事株式会社	141,570	2.16
石崎幸七	131,230	2.01
木原秋好	129,660	1.98

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 毎年3月31日
 その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
- 株主名簿管理人 株式会社だいこう証券ビジネス
 同事務取扱場所 〒541-8583
 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部
 (各種お問合せ) 電話 0120-255-100
 ※株式関係のお手続用紙のご請求は、次の電話番号およびインターネットで24時間受け付けています。
 手続用紙請求電話 0120-351-465
 インターネットホームページ <http://www.daiko-sb.co.jp/>
- 同取次所 株式会社だいこう証券ビジネス 各支社
 単元未満株式買取請求および買増請求は、上記株主名簿管理人において受け付けています。
 なお、買増請求につきましては3月31日および9月30日のそれぞれ12営業日前から当該日までは停止します。
- 公告掲載方法 日本経済新聞に掲載
 上場金融商品取引所 福岡証券取引所 大阪証券取引所